

令和元年8月16日

各位

九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門
農業生物科学講座 農業生産生態学分野
助教候補者選考委員会
委員長 青木智佐

九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門
農業生物科学講座 農業生産生態学分野
助教候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座 農業生産生態学分野助教候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

助教・1名（任期付、再任なし）

2. 所属・専門分野

今回採用する助教は、大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 資源生物科学専攻 農業生物科学教育コース担当教員となります。

当該講座は資源生物科学部門の中で、農作物を中心とした農業生物資源の安定供給、革新的生産技術、保護管理、有効利用、および持続的圃場管理等に必要な植物、動物、昆虫、微生物、生物環境等に関する研究を担当し、高生産性・高品質な農作物の開発、分子育種、植物防疫、天敵・病害虫管理、昆虫工場、並びに農業生態系の維持に関する先端知識の修得と技術の確立を目指して教育研究を推進しています。

当該講座の目標を実現するに当たっては、農業生物資源の持続的安定供給法の確立や生物資源の保護管理が重要です。特に、農業生産生態学分野では、農学部附属農場の圃場・施設における作物の生理・生態の解析、環境と調和した持続的作物栽培に関する教育研究が不可欠です。

今回採用する助教としては、

- 1) フィールドレベルにおける作物生産に関する教育研究
- 2) 作物の環境適応性に関する教育研究
- 3) 耕地の有効利用と持続的な作物生産技術の開発に関する教育研究

などの領域における先進的教育研究を推進しうる方を求めています。また、令和2年度に予定されている附属農場の伊都キャンパスへの移転を円滑に進め、先進的研究農場を構築して、当該講座における生物資源に関わる安定供給や革新的生産技術の開発と生物資源の保全利用に関する教育研究に貢献できる方を求めています。

3. 採用予定時期・採用期間

採用予定時期：教授会承認後可能な限り早い時期

採用期間：3年間、再任なし

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域1)～3)において優れた業績を有し、大学院および学部の教育研究に熱意を持って取り組む方。

5. 担当授業科目

(1) 大学院

修士課程：

(資源生物学専攻農業生物学教育コース)

農業生物学演習第一(分担)、同第二(分担)、農業生物学プロジェクト演習(分担)、農業生物学演習技法(分担)、農業生物学ティーチング演習(分担)、インターンシップ(分担)、国際交流演習(分担)、国際交流実践演習(分担)、農業生物学特別研究第一(分担)、同第二(分担)等

(国際コース)

特別演習Ⅰ(分担)、同Ⅱ(分担)、修士論文研究Ⅰ(分担)、同Ⅱ(分担)、ティーチング演習(分担)、演習技法(分担)、インターンシップ(分担)等

博士後期課程：

(資源生物学専攻農業生物学教育コース)

農業生物学特別実験(分担)、農業生物学特別講究(分担)、農業生物学特別演習(分担)、ティーチング演習(分担)、国際演習技法(分担)、インターンシップ(分担)、プロジェクト演習(分担)、国際交流演習(分担)、国際交流実践演習(分担)等

(国際コース)

農業生物学特別実験(分担)、農業生物学特別講究(分担)、農業生物学特別演習(分担)、ティーチング演習(分担)、国際演習技法(分担)、インターンシップ(分担)、プロジェクト演習(分担)等

(2) 学部

農場実習(分担)、農場実習Ⅰ(分担)、農場実習Ⅱ(分担)、農場実習Ⅲ(分担)、
農場実習Ⅳ(分担)、農場実習Ⅴ(分担)等

(担当可能な基幹教育科目)

体験的農業生産学入門(分担)等

(国際コース)

Fieldwork on Bioresource and Bioenvironment 1(分担)等

なお、英語による授業および研究指導も担当して頂きます。

6. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録(新しい順に記載)

I. 原著論文: 著者名(本人の氏名に下線を、本人が責任著者の場合は*を記すこと)、
題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年の順、(i) 査読付き雑誌、(ii) 査読なし雑誌、
(iii) 国際学会プロシーディングス、(iv) その他、で区分すること

II. 著書: 著者名、題名、発行所、頁、発行年

III. 総説、解説等: 著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年

IV. 特許・品種登録等

V. 学会等での受賞

VI. 国際学会等招待講演

VII. 外部資金の導入実績: 名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担の別

VIII. 教育実績

IX. 社会貢献等の実績

X. その他: 資格等

(3) これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負(1,500字以内)

(4) これまでの教育の実績と今後の教育に関する抱負(1,500字以内)

(教育実績のない場合は、今後の教育に対する抱負)

(5) 上記(1)~(4)については、印刷物と共に、これらのWordファイルおよびPDF
ファイルを保存した光ディスクあるいはUSBフラッシュメモリ

(6) 主要論文の別刷またはその写し(5編以内)、およびそれらのPDFファイル

((5)の光ディスクあるいはUSBフラッシュメモリに保存)

(7) 推薦書

自薦の場合: 自薦書および応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方
2名の氏名および連絡先

他薦の場合: 推薦書(1通)

7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

8. 提出締切および方法

令和元年9月27日（金）正午必着。書類には、応募書類在中と朱書きの上、受付を証明できる方法（書留、宅配便等）で提出すること。

9. 提出書類送付先

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 ウエスト5号館

九州大学大学院農学研究院

天敵微生物学研究分野

（農業生産生態学分野助教候補者選考委員会）

委員長：青木智佐

電話：092-802-4575、E-mail: yasunaga@grt.kyushu-u.ac.jp

10. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。また、「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- (3) 大学院農学研究院、大学院生物資源環境科学府、農学部の教育研究の概要等は、次のホームページをご参照下さい。（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>）
- (4) 応募書類は返却しませんが、選考以外の目的には使用しません。
- (5) 給与等についての規定および問い合わせ先：
国立大学法人九州大学職員給与規定
（<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/616/1/2004syuki014.pdf>）
問い合わせ先：九州大学農学部庶務係
（電話：092-802-4505、E-mail: nossyomu2@jimukyushu-u.ac.jp）
- (6) 勤務先は、九州大学農学部附属農場（福岡県糟屋郡粕屋町大字原町111）ですが、農学部は平成30年に伊都キャンパスに移転したため、授業等で伊都キャンパスに行くことがあります。また、附属農場も令和2年度には伊都キャンパスへの移転が予定されています。